

# 「現在の学生生活(いま)」 と 「進んでいきたい道(これから)」

～野田建築50周年記念事業の学生向けアンケート結果～

---

2017年9月

東京理科大学理工学部建築学科

野田建築50周年記念事業 実行委員会アンケート企画WG

## アンケートの趣旨, 実施方法, 回収・入力方法

---

- 理工学部建築学科の50周年記念イベント企画の1つとして、**現役学部生・大学院生を対象として「現在の学生生活(いま)」と「進んでいきたい道(これから)」に関するアンケート調査**を実施した。野田キャンパスで建築学科が誕生して50年目の学生が、どんな日常を過ごしどんな将来を描いているかを調査し、分析した。
- 2017年4月に理工学部建築学科の学部生, 大学院生の全学年を対象に実施。学部1～3年はガイダンス, 授業時にアンケート用紙を配布。研究室に属する学部4年生, 大学院生は研究室毎に配布。
- アンケート用紙は西尾助教が取りまとめ, 50周年学生委員会が入力を担当。学部生分は, 兼松研究室, 大宮研究室が入力を担当。
- アンケートのとりまとめ, 分析は, アンケート企画WG・出塚哲也主査が担当。

# アンケート用紙

2017年4月  
野田建築50周年記念事業実行委員会  
アンケート企画WG

建築学科、建築学専攻の皆さん。

2017年度に東京理科大学理工学部建築学科は50周年を迎えました。現在、建築学科では50周年記念イベントの開催を10月29日に予定しており、野田建築会と協力して記念講演会、懇親会、50周年記念誌の刊行、50周年記念コンペ等を企画しております。その企画の一つとして、現役学部生・大学院生（修士）を対象として「現在の学生生活（いま）」と「進んでいきたい道（これから）」に関するアンケート調査を実施いたします。

野田キャンパスで建築学科が誕生して50年目の学生が、どんな日常を過ごしどんな将来を描いているか、建築学科OB/OGにとっても興味深い調査結果となると考えております。

## 「現在の学生生活（いま）」について

1. 計画、設計、構造、環境、材料、防災の領域の「好き」「嫌い」について、いずれか1つに○を付けるとともに、具体的な理由があれば教えてください。

【(a)好き】 1.計画 2.設計 3.構造 4.環境 5.材料 6.防災 具体的な理由名[ ]

【(b)嫌い】 1.計画 2.設計 3.構造 4.環境 5.材料 6.防災 具体的な理由名[ ]

2. 普段、キャンパス内のどこで過ごしていますか。○を付けてください。(複数回答可)。

1. 講義棟 2. 図書館 3. 第三食堂 4. 生協 5. カナル会館 6. 研究室 7. コミュニケーション棟  
8. セブンイレブン 9. 部室棟  
10. その他[ ]

3. 現在住んでいる場所、最寄り駅と居住形態を教えてください。

【(a)場所】 [ ] 都-県 [ ] 市-区-郡

【(b)最寄り駅】 [ ]

【(c)居住形態】 1. 実家 2. 下宿-寮 3. アパート・マンション 4. シェアハウス 5. その他[ ]

4. 今、一番力を入れていることは何ですか。○を付けてください。(複数回答可)。

1. 勉学 2. 設計 3. サークル活動 4. 就職活動 5. 飲み会 6. 旅行 7. 趣味  
8. アルバイト 9. イベント企画 10. ボランティア 11. 恋愛 12. その他[ ]

5. 今までに海外に渡航したことはありますか。いずれか1つに○を付けてください。

1. 1か国 2. 2か国 3. 3か国 4. 4か国 5. 5か国以上 6. 行ったことがない

6. 海外への半年以上の長期留学、インターンシップ等をどのように考えていますか。いずれか1つに○を付けてください。

1. 是非とも行きたい(既に行った) 2. 機会があれば行ってみたい 3. 特に考えていない  
4. あまり行きたくない

## 「進んでいきたい道（これから）」について

7. 卒業後、就きたいと考えている(予定している)希望業種と希望業務について、下記から1つ選び○をつけてください。

- 【(a)希望業種】 1.ゼネコン 2.大手設計事務所 3.アトリエ系設計事務所 4.官公庁・公務員  
5.不動産 6.住宅メーカー 7.設備・材料メーカー 8.コンサルタント・研究所  
9.大卒・専攻 10.その他[ ]

- 【(b)希望業務】 1.設計(意匠・構造・設備) 2.施工管理 3.研究 4.都市計画  
5.その他[ ]

8. 卒業後、上記の希望業種に就きたい勤務希望地はどこですか。下記から1つ選び○をつけてください。また、希望した理由を記入してください。

- 【(a)勤務希望地】 1.首都圏1都3県 2.出身地周辺(東京都を除く)  
3.国内(東京都・出身地を含むどこでも) 4.海外(先進国)  
5.海外(開発途上国を含むどこでも) 6.希望業種に就けるのならどこでも

【(b)その理由】 [ ]

9. 学部卒業もしくは大学院修了時までにやっておきたいことを、3つを限度にお聞かせください。

1	
2	
3	

10. 半年(2017年4月1日時点) - 性別について下記から1つ選び○を付けてください。

- 【(a)半年】 1.学部1年 2.学部2年 3.学部3年 4.学部4年 5.学部その他  
6.大学院1年 7.大学院2年 8.大学院その他

【(b)性別】 1.男性 2.女性

ご協力ありがとうございました。

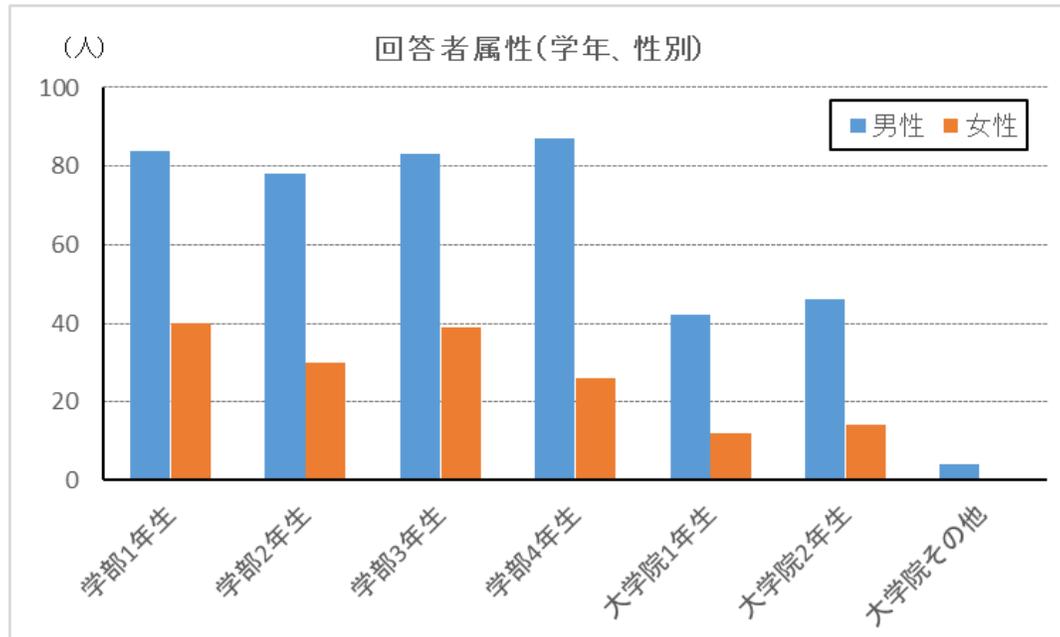
野田建築50周年記念事業実行委員会アンケート企画WG

# 回答者数

□回答者となった学生数は、男子学生424人(72.5%)、女子学生161人(27.5%)の計585人(属性判明分のみ)。

□学年別学生数は、学部1年生124人(21.2%)、学部3年生122人(20.9%)、学部4年生113人(19.3%)、学部2年生108人(18.5%)、大学院2年生60人(10.3%)、大学院1年生54人(9.2%)の順。

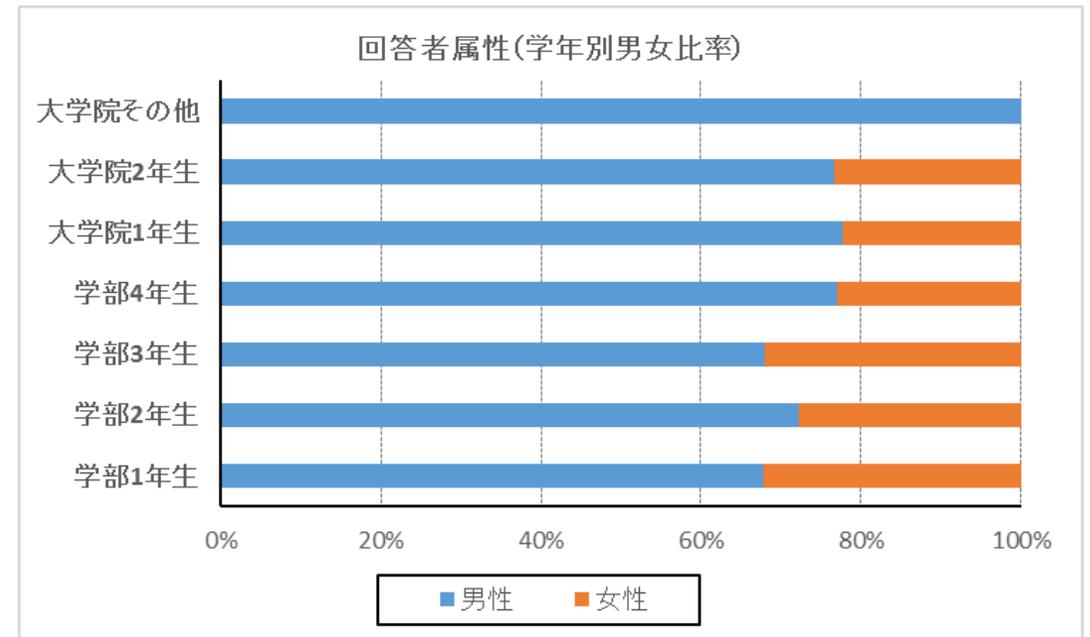
□学部生467人(79.8%)に対し、大学院生は118人(20.2%)。



□回答者となった学生の男女区分は、男性424人(72.5%)に対し女性161人(27.5%)。

□学年別の女性比率は、学部1年生が32.3%で最多であり、以下、学部3年生32.0%、学部2年生27.8%、大学院2年生23.3%、学部4年生23.0%と続く。

□学部生の女子比率28.9%に対し大学院生22.0%と、学部生が7%ポイント高い。

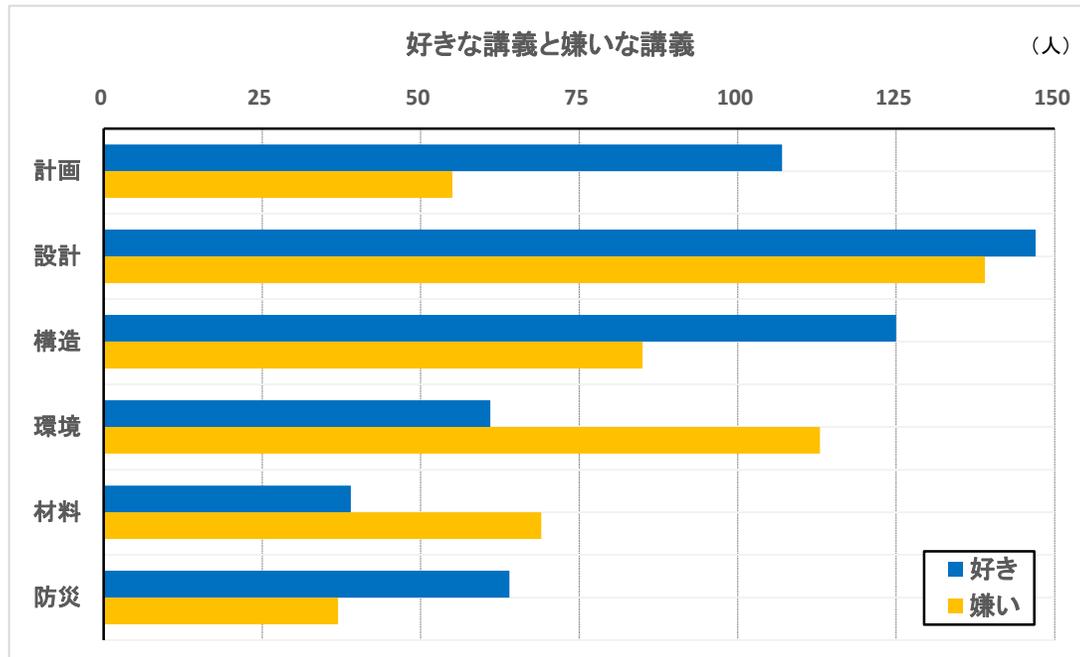


# 「現在の学生生活(いま)」

---

# 1. 好きな講義と嫌いな講義は

- 好きな講義は、「設計」「構造」「計画」「防災」「環境」「材料」の順。
- 嫌いな講義は、「設計」「環境」「構造」「材料」「計画」「防災」の順。
- 好きが嫌いを上回るのは、「計画」52人、「構造」40人、「防災」27人、「設計」8人の4講義。
- 嫌いが好きを上回るのは、「環境」52人、「材料」30人の2講義。



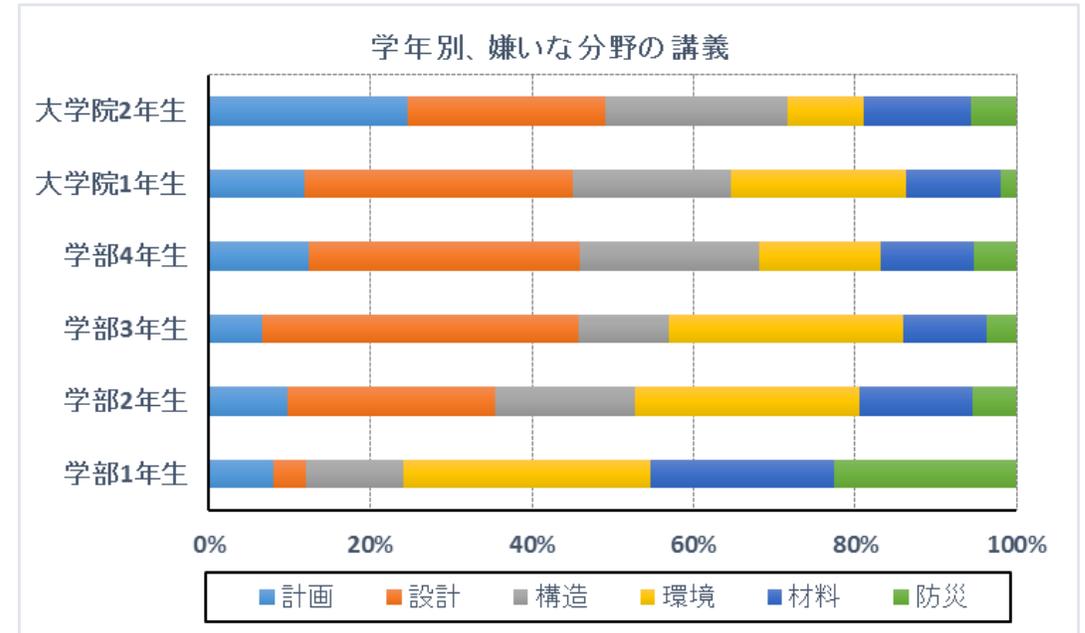
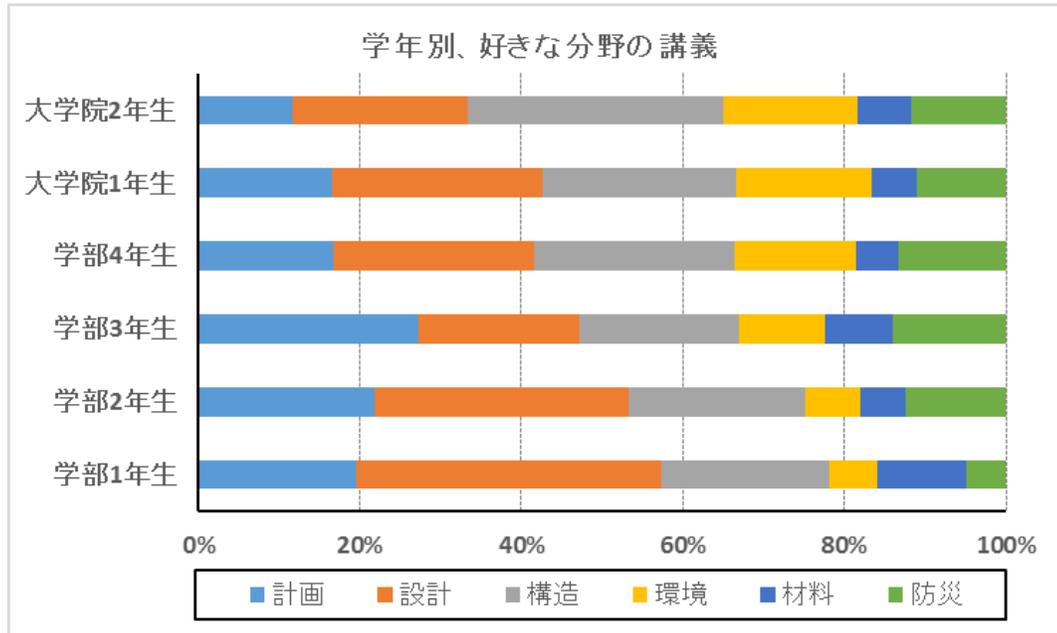
- 好きな講義の名称は、「設計製図」が7件で最多。「構造力学」「建築構造力学」「建築構造計画」等の構造系が好きだとした回答も多数。
- 一方、嫌いな講義の名称は、好きだとした回答が最多であった「設計製図」が14件で最多であり、構造系とした回答も多数。
- ひとつの講義を好きとした回答と嫌いとした回答は同程度であり、個々の学生の建築に対する興味は分散していると推測される。

No.	講義名称		No.	講義名称	
	好きな講義	嫌いな講義		好きな講義	嫌いな講義
5	建築構造力学 I、II	設計製図	290	防災	-
7	建築構造力学	-	292	-	西洋建築史
15	振動学	-	296	構造力学 I・II	建築防災概論
16	振動学	建築計画	299	設計製図 I	環境工学
17	構造力学	設計製図	319	防災設計	設計製図
25	構造設計製図	設計製図	323	構造力学、材料力学	-
52	建築計画 I	空間デザイン	340	建築防災概論	設計製図
57	環境学実験2	設計製図 II	341	建築材料・施工特論	-
65	-	設計製図	342	構造力学	環境工学
128	都市デザイン	-	365	建築史	設備
130	都市デザイン	構造力学	371	設計製図	特になし
132	都市計画	建築材料	450	-	環境工学
136	都市計画	建築材料	470	建築防災設計	-
153	建築環境工学	近現代建築史	481	建築材料	建築設備
168	環境工学	設計製図	490	-	設計製図
185	-	設備	501	材料実験	都市デザイン
187	-	建築史	519	建築計画 II	設計製図 II
200	建築構造力学	設計製図	538	構造力学	建築材料
209	設計製図	構造力学	544	建築構造計画	都市計画
222	設計製図	-	557	設計製図	環境工学
235	防災設計概論	設計製図	560	-	設計製図
241	近現代建築史	-	563	設計製図	建築法規
263	設計製図	設計製図	564	建築史	-
282	材料 I II、施工 I II	-	589	構造力学	-

# 1.好きな講義と嫌いな講義は(学年別)

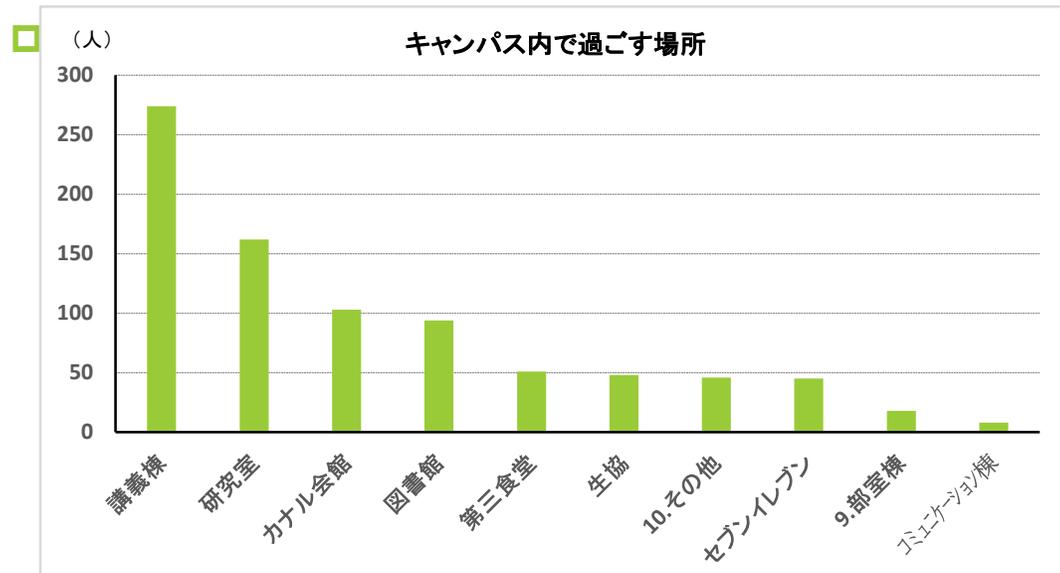
- 「計画」「設計」「材料」は学年が上がるほど好きだとした比率が低下。特に、学部1年生で37.8%が好きだとした「設計」は、大学院2年生では21.7%と大幅低下。課題に対するイメージと作品とのギャップあるいは課題のボリュームと高度化等が原因と考えられる。
- 一方、「構造」「環境」「防災」は学年が上がるほど好きだとした比率が上昇。講義を受けていく中で、面白さに気づいた、もしくはデザインの能力不足を自覚し、工学系に転向したと推測される。

- 「計画」「設計」「構造」は学年が上がるほど嫌いだとした比率が上昇。学部1年生で4.0%だった「設計」は学部2年生では25.8%に上昇。
- 「環境」「材料」「防災」は学年が上がるほど嫌いだとした比率が低下。学部1年生で22.7%だった「防災」は学部2年生では5.4%に低下。
- 「設計」「防災」とも、学部1年生の時の当初1年間の講義が、教科に対するイメージを大きく変化させたと推測される。



## 2. キャンパス内で過ごす場所

- キャンパス内で過ごす場所は、講義棟が約270人。概ね半数の学生が日常的に利用している状況。
- 「研究室」が約160人で次ぐが、利用者は概ね学部4年生と院生に限られることを考慮すれば当学年における利用頻度は高い。
- 「カナル会館」「図書館」とした回答が約100人でそれに次いでおり、全般的に学習・研究空間の近くで過ごす状況がうかがえる。



- その他、キャンパス内で過ごす場所として、下表のような回答があった。
- 「体育館」や「トレーニング棟」「グラウンド」や「テニスコート」といったスポーツ系は比較的少ない。
- 建築学科の学生らしく、「2号館」や「製図室」といった回答もみられ、設計・製図に取り組む姿勢も見られる。

その他場所別の回答件数

その他	件数	その他	件数
2号館	13	喫煙所	3
ロビー	10	中庭	2
製図室	4	グラウンド	2
体育館	3	コンピューター室	1
トレーニング棟	3	テニスコート	1
中庭	3	英語ラウンジ	1

### 3. 現在住んでいる場所と居住形態

□居住形態区分では、「賃貸アパート・マンション」の260人(46.1%)で最多で、「自宅」の234人(41.5%)をわずかに上回る。「下宿」は70人(12.4%)と極端に少なく、「下宿」という居住形態が現代の学生のニーズに合致していない状況がうかがえる。

□大学のある「野田市」と隣接する「流山市」に所在する賃貸アパート・マンション及び下宿に居住する学生は、228人(87.7%)、58人(82.9%)と大半を占める。大学入学をきっかけに自宅を離れたことから大学の近くに居を構えるのは当然であろう。「自宅」は東京都区部の81人(34.6%)で最多であるが、遠くは神奈川県小田原市から通学する大学院生もみられる。

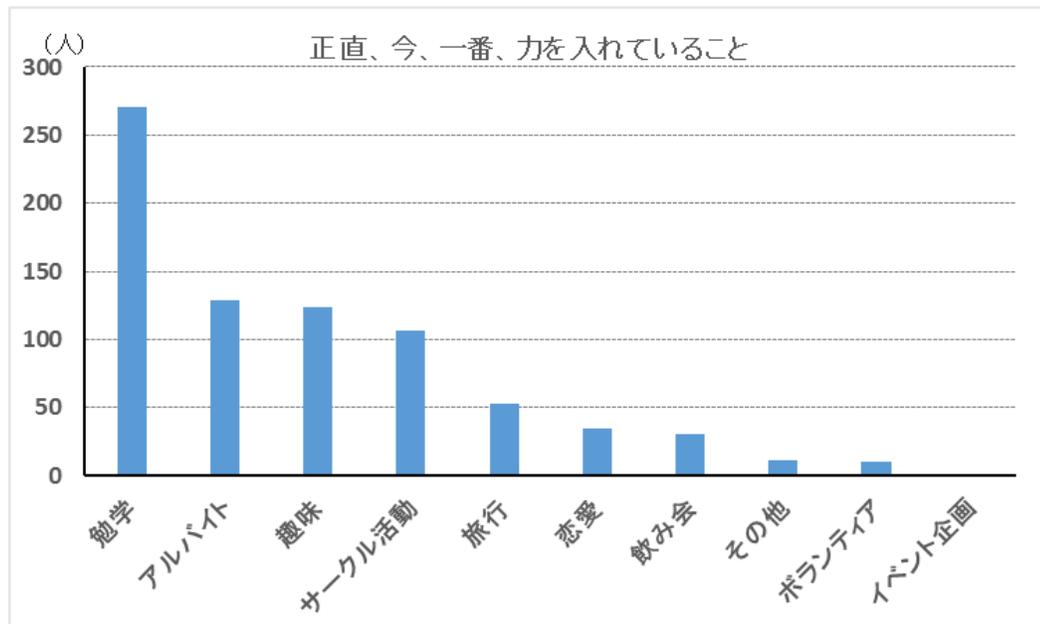
自宅			
所在地	人数	占有率1	占有率2
東京都	93	16.5%	39.7%
区部	81	14.4%	34.6%
市部	12	2.1%	5.1%
神奈川県	14	2.5%	6.0%
横浜市	7	1.2%	3.0%
川崎市	6	1.1%	2.6%
その他	1	0.2%	0.4%
千葉県	64	11.3%	27.4%
千葉市	8	1.4%	3.4%
その他	56	9.9%	23.9%
埼玉県	47	8.3%	20.1%
さいたま市	15	2.7%	6.4%
その他	32	5.7%	13.7%
茨城県	13	2.3%	5.6%
栃木県	1	0.2%	0.4%
群馬県	2	0.4%	0.9%
計	234	41.5%	100.0%

下宿			
所在地	人数	占有率1	占有率2
千葉県	67	11.9%	95.7%
野田市	35	6.2%	50.0%
流山市	23	4.1%	32.9%
柏市	2	0.4%	2.9%
松戸市	6	1.1%	8.6%
我孫子市	1	0.2%	1.4%
東京都	2	0.4%	2.9%
墨田区	1	0.2%	1.4%
足立区	1	0.2%	1.4%
神奈川県	1	0.2%	1.4%
横浜市	1	0.2%	1.4%
計	70	12.4%	100.0%

賃貸アパート・マンション			
所在地	人数	占有率1	占有率2
千葉県	254	45.0%	97.7%
野田市	119	21.1%	45.8%
流山市	109	19.3%	41.9%
柏市	23	4.1%	8.8%
松戸市	1	0.2%	0.4%
八千代市	1	0.2%	0.4%
浦安市	1	0.2%	0.4%
東京都	4	0.7%	1.5%
墨田区	1	0.2%	0.4%
豊島区	1	0.2%	0.4%
荒川区	1	0.2%	0.4%
足立区	1	0.2%	0.4%
埼玉県	1	0.2%	0.4%
川口市	1	0.2%	0.4%
神奈川県	1	0.2%	0.4%
横浜市	1	0.2%	0.4%
計	260	46.1%	100.0%

## 4. 今、一番力を入れていること

- 「勉強」が271人(35.1%)で最多。本校の学生らしい、ある程度予想通りの回答であった。
- 他大学であれば上位を占めそうな「アルバイト」「趣味」「サークル活動」が100～130件で次ぐが、いずれも「勉強」の半数以下の回答数に留まる。「旅行」「恋愛」「飲み会」といったイベントの比率も少ない。



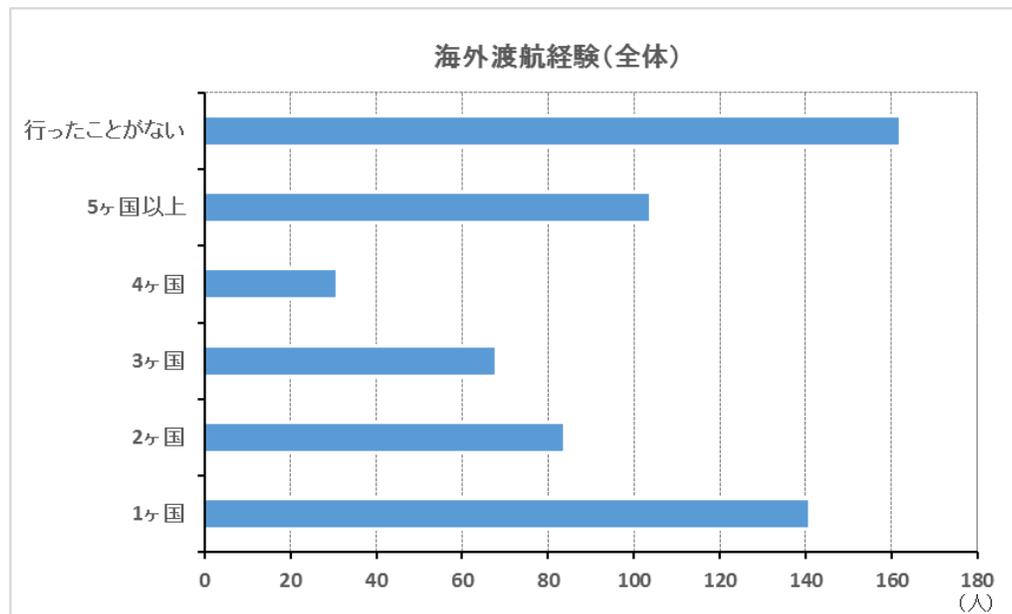
- その他の回答でも、「研究」や「部活動」「学生団体」といった学校行事の関連が多数。「友人作り」や「人間関係」といった、外部との交流に力を入れているといった回答も複数みられる。
- こうした回答が多数派になれば、「勉強」好きで「真面目」といった本学学生に対する基本的イメージも変わるのだろうが、それが理科大生らしさの喪失にならないことを望む。

その他、今、一番力を入れていること

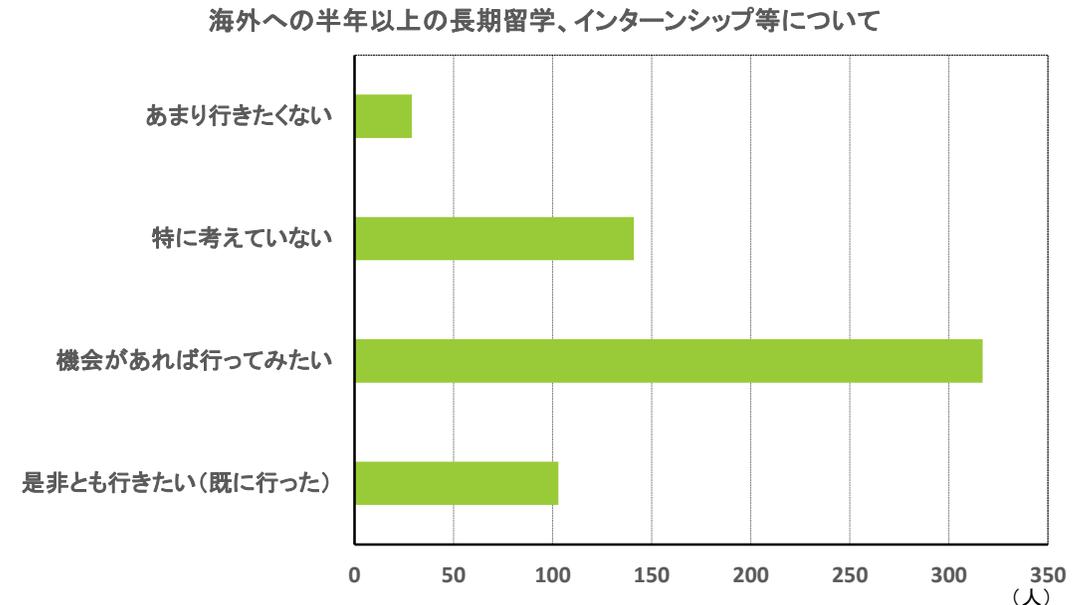
No.	その他
20	部活
29	研究
33	研究
85	部屋の片づけ
146	人間関係
223	友人作り
258	友人作り
342	部活
387	友達作り
473	部活動
474	フットボール
587	学生団体

## 5. 海外渡航経験と海外への半年以上の長期留学・インターンシップへの考え

- 1カ国以上の海外渡航経験のある学生は72.5%であり、「行ったことがない」(27.5%)学生を大きく上回る。
- 「5ヶ国以上渡航」が104人(17.6%)で「1ヶ国」に次いで多く、積極的に海外渡航を繰り返す学生が存在する。
- 海外渡航経験はここ50年で大きく増加したと推察される。高校の修学旅行や家族旅行での海外渡航が増えたことも一因と考えられる。



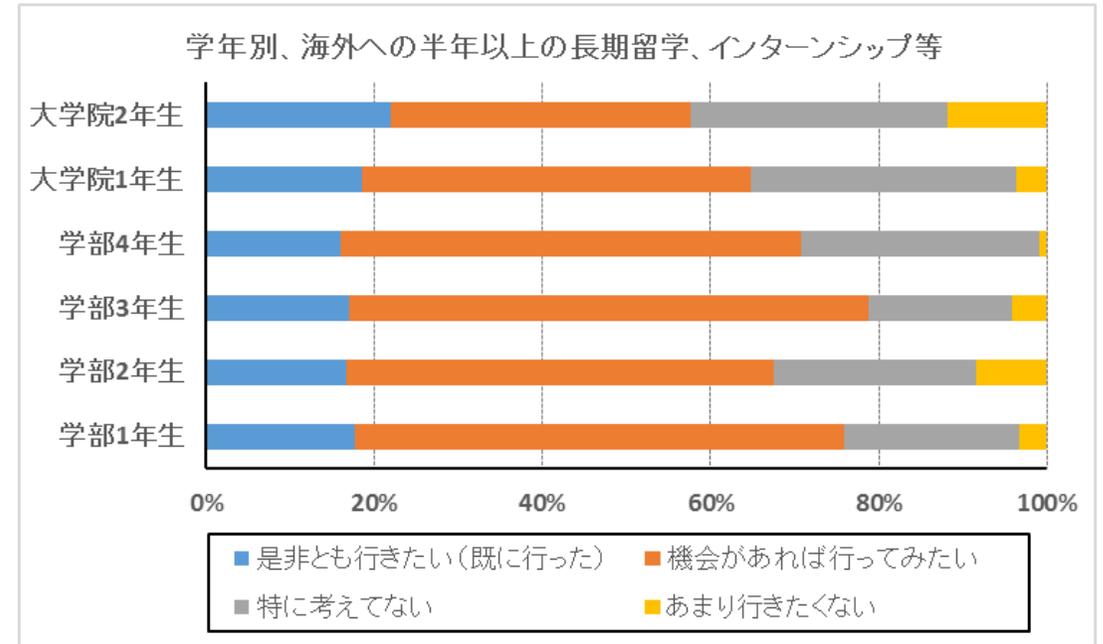
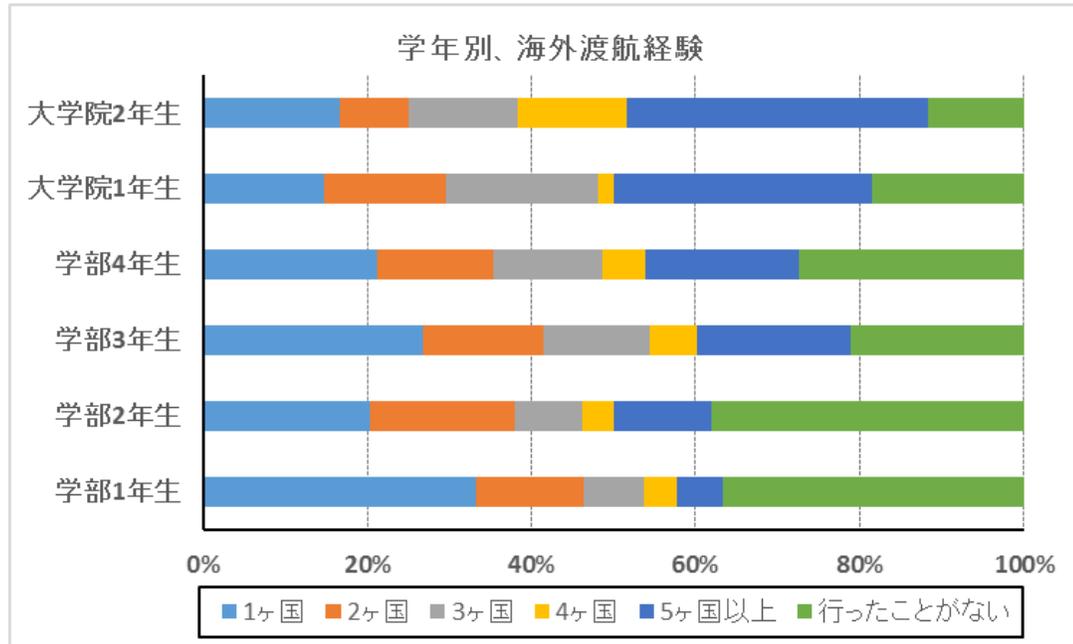
- 半年以上の長期海外留学・インターンシップについて、「是非とも行きたい(既に行った)」「機会があれば行ってみたい」といった積極的な回答は420人(71.2%)で、これらを志向する学生は多い。
- 「あまり行きたくない」「特に考えてない」といった消極的な回答は170人(28.8%)で、前述した海外渡航経験で「行ったことがない」とした回答とほぼ同数。海外渡航経験がない学生ほど長期留学・インターンシップに消極的と考えることもできる。



## 5. 渡航経験と海外への半年以上の長期留学・インターンシップへの考え(学年別)

- 海外に「行ったことがない」は、学部1年生が36.6%であったのに対し、大学院2年生では11.7%に低下。一方、「5ヶ国以上渡航」は、学部1年生が5.7%であったのに対し、大学院2年生では36.7%に上昇。
- 一般的に学年が上がるほど渡航経験は増加する傾向がみられ、特に学部2年生から3年生、学部4年生から大学院1年生での経験が顕著となっている。

- 海外への半年以上の長期留学・インターンシップに関し、「是非とも行きたい(既に行った)」とした回答は学年が上がっても大きく変化しない。
- 「機会があれば行ってみたい」との回答は、学部3年生でピークとなっている。3+3の後半で交換留学制度を活用できる可能性が高い。
- 学部4年以降は「機会があれば行ってみたい」が徐々に低下し、「特に考えていない」、「あまり行きたくない」が増加する。就職等を控え、長期留学・インターンシップに対する関心が低下しているものと推察される。

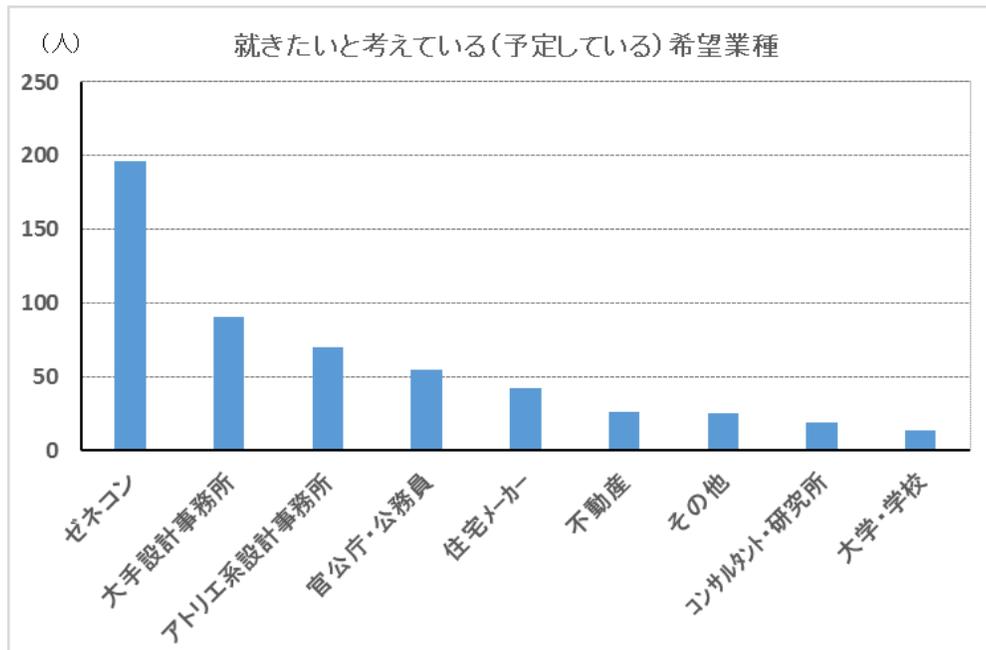


「進んでいきたい道(これから)」

---

## 6. 就職を希望(予定)している業種

- 就きたいと考えている(予定している)希望業種は、「ゼネコン」が196人(36.4%)で最多。
- 以下、「大手設計事務所」91人(16.9%)、「アトリエ系設計事務所」70人(13.0%)、「官公庁・公務員」55人(10.2%)と続くが、いずれも「ゼネコン」希望者の半数以下。
- 本学在校生のゼネコン指向の強さがうかがえる。



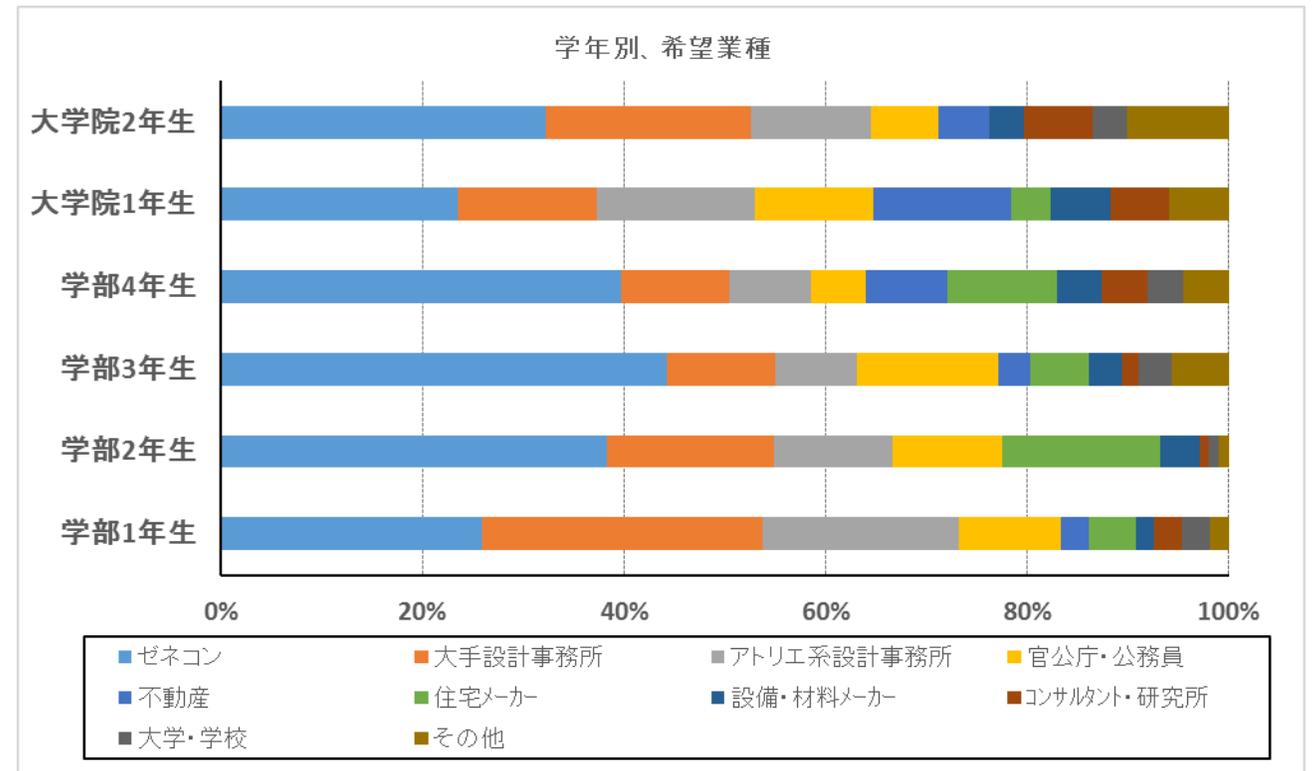
- その他の回答としては、「鉄道」「インフラ」「商社」を始めとした多種多様な希望業種がみられる。
- 建築技術者を必要としている業種は、建設系のみならず多岐にわたっている。就職を希望する業種があれば、その業種でどのような建築技術職を必要としているか、どんな職種の採用実績があるのか、といった調査も有用であろう。

その他の希望業種

No.	業種	No.	業種
25	インフラ	163	マスコミ
34	メディア	207	出版
38	イベント系	331	飲食業
42	広告	339	鉄道、インフラ
52	ソフトウェアメーカー	359	鉄道
94	文具メーカー	426	ゲーム
124	ハウスメーカー	490	起業
129	web広告	526	商社
153	鉄道	561	商社
155	鉄道	587	起業
159	インフラ		

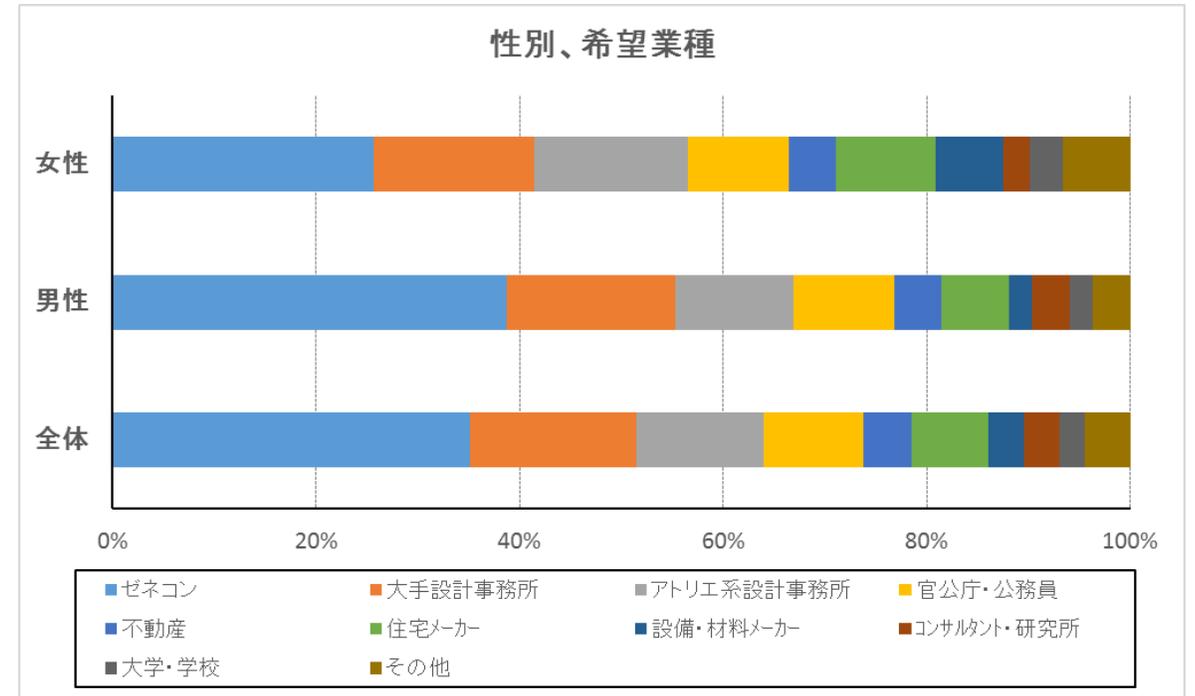
## 6. 就職を希望(予定)している業種(学年別)

- 「ゼネコン」を希望する学生比率は、学部生の間は学年が上がるほど上昇しているが、大学院1年生で大きく低下し大学院2年生になって再び上昇している。就職が現実味を帯びてきた状況下では、「ゼネコン」希望者が増加する傾向がみられる。
- 「大手設計事務所」と「アトリエ系設計事務所」「官公庁・公務員」は、学部生の間は学年が上がるほど低下している。「大手設計事務所」と「アトリエ系設計事務所」は大学院になっても上昇を続けており、大学院に進んだことが希望業種を決定するきっかけになっているようである。「官公庁・公務員」は大学院1年生で大きく上昇したが大学院2年生になって再び大幅に低下している。試験結果次第であるといった消極的な動きと考えられる。
- 「不動産」は学部3年生頃までは希望する学生がほとんどいなかったが、学部4年生から大学院1年生、大学院2年生と希望する学生が相当数発生している。学年が上がるにつれて、建築と不動産の業務内容を知った上で、改めて「不動産」を自らの希望に照らした結果と考えられる。
- 「住宅メーカー」は学部生の間は希望業種として5～16%程度の回答がみられたが、大学院生にはほとんどみられない。現状、住宅メーカーを希望する学生の大半は学部卒に限られているようである。



## 6. 就職を希望(予定)している業種(性別)

- 女子学生と男子学生の希望業種比率を比較すると、男子学生で38.8%を占める「ゼネコン」は女子学生では25.7%に低下。現在、ゼネコン各社では「リケジョ」として女性の職場進出を前面に打ち出しているが、現役学生の希望業種をみる限りでは、女性のゼネコン進出希望は男性より10%ポイント以上低い水準に留まっている。
- その他の業種について女子学生と男子学生の希望業種比率を比較すると、「大手設計事務所」「官公庁・公務員」「不動産」ではほとんど差異はみられず、「設備・材料メーカー」で4.4%ポイント、「アトリエ系設計事務所」で3.5%ポイント、「住宅メーカー」で3.2%ポイント、女子学生の方が高い希望比率となっている。
- 結果をみる限り、「ゼネコン」において男子学生に比した希望比率の低下はみられるものの、男子学生に比べて女子学生の方が就職希望先が限定されているといった状況は確認されない。

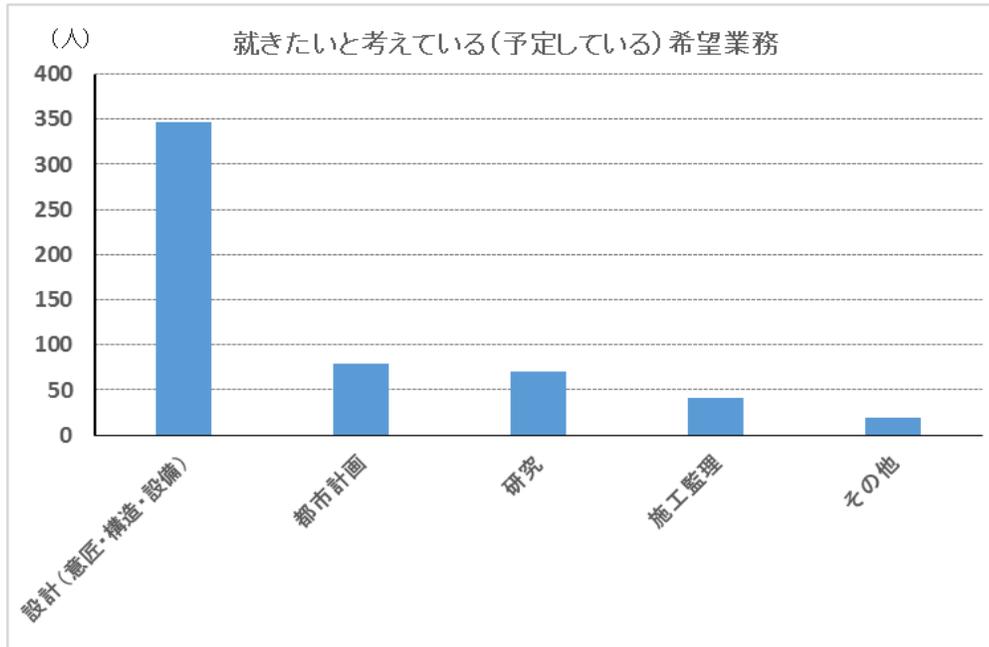


## 7. 希望(予定)している業務

□就きたいと考えている(予定している)希望業務は、「設計(意匠・構造・設備)」が346人(62.3%)で最多。以下、「都市計画」79人(14.2%)、「研究」70人(12.6%)、「施工監理」41人(7.4%)と続く。

□本問では、本学在校生の大半が建築系専門職を希望していることはわかったが、背景として学生が建築業務の多様さを十分に理解していない点も考慮する必要がある。

□少数回答の中では、設問者による提示業務例の少なさを補うように、以下のような「照明デザイナー」「営業」「保存修復」「積算」「建築適合審査関係事務」等の回答が散見された。

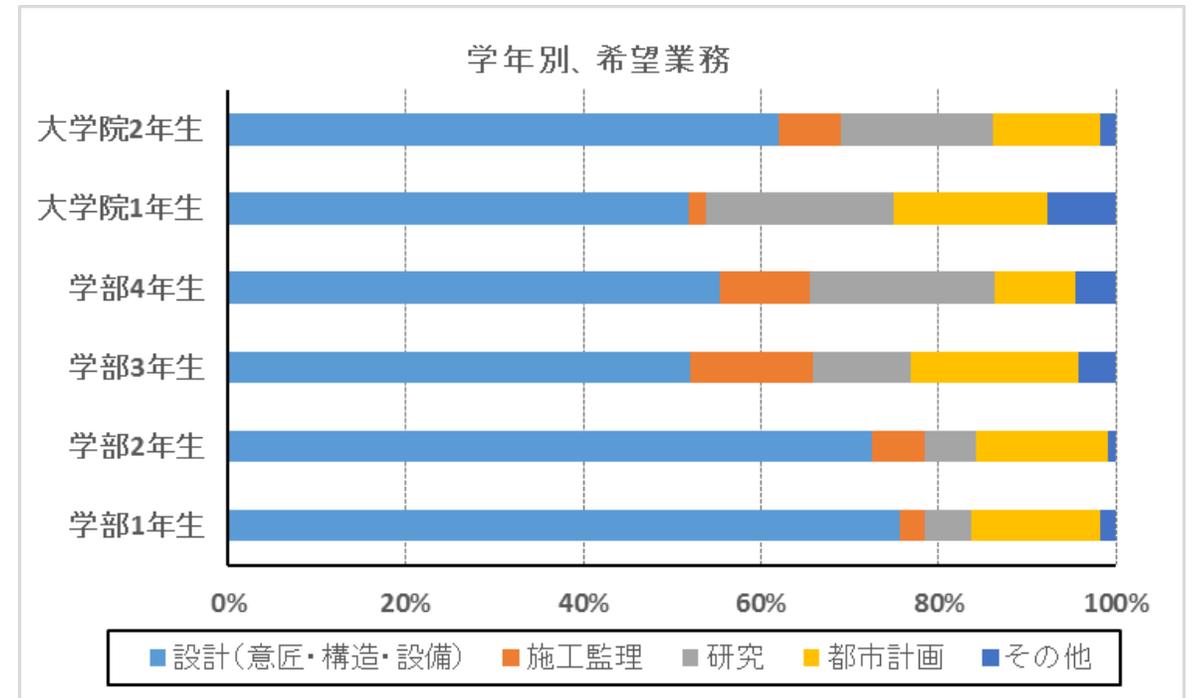


その他の希望業務

No.	業務内容	No.	業務内容
34	編集	163	技術職
37	デベロッパー	239	保存修復
55	照明デザイナー	331	オーナー
64	営業	456	積算
65	総合職	462	建築適合審査関係事務
129	webコンサルタント	485	お茶入れ係
159	技術営業	510	営業

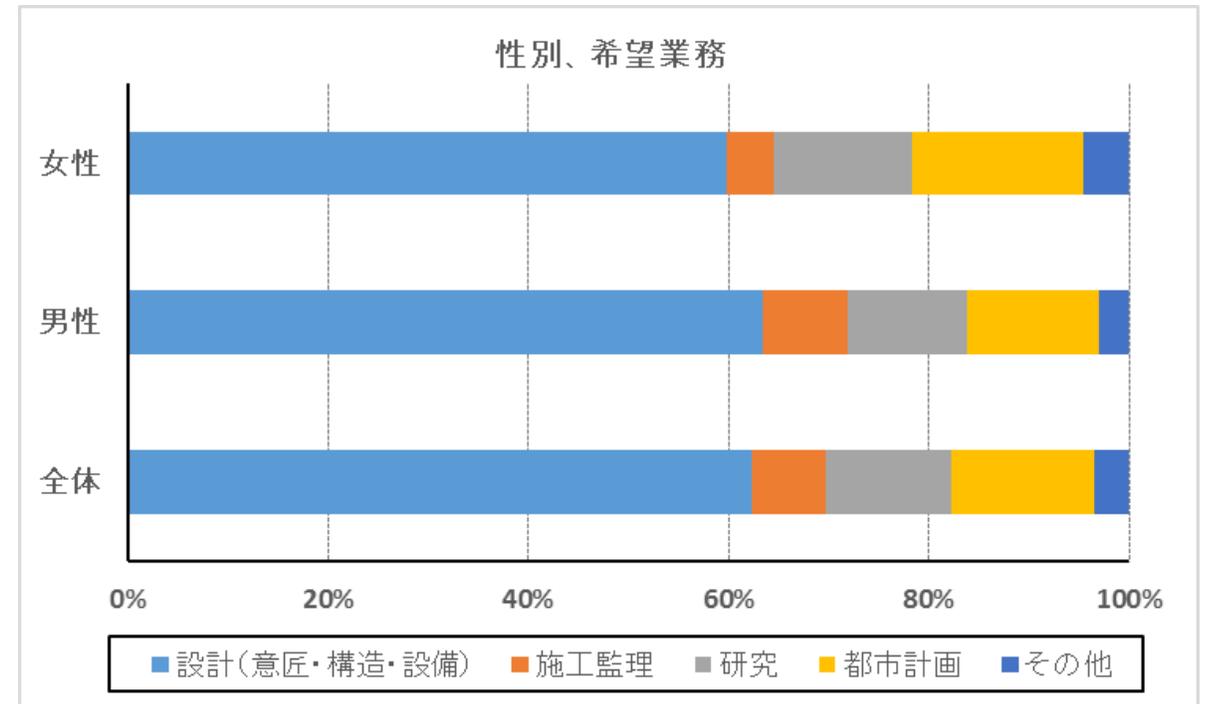
## 7. 希望(予定)している業務(学年別)

- 「設計(意匠・構造・設備)」を希望業務とした学生比率は、学部1年生が75.7%、学部2年生が72.5%と低学年で高い水準にあったが、学部3年生から大学院1年生は51.9~55.5%まで低下し、大学院2年生は再び62.1%に上昇している。入学直後及び1年間の講義を受けた状況下では「設計(意匠・構造・設備)」の楽しさを知り、こうした業務に就きたいと考えるものの、学年が上がることによる課題の高度化や他者の作品との格差が拡大していくにつれ、「設計(意匠・構造・設備)」に進むのは難しいと考えたと推測される。一方、大学院2年生での上昇は、進路がある程度確定したことによると考えられる。
- 「施工監理」を希望業務とした学生比率は、学部3年生や学部4年生、大学院2年生で6.9~13.7%の回答がみられる。就職が現実味を帯びる状況下になって始めて検討しているものと推測される。
- 「研究」を希望業務とした学生比率は、学部4年生で20.9%と急速に増加し、大学院1年生で21.2%、大学院2年生で17.2%と高水準を維持している。学部4年生の頃から進路を決定し、大学院に入っても希望を貫いた結果と考えられる。
- 「都市計画」を希望業務とした学生比率は、学部生の間は学年の上昇に伴い低下を続けているものの、大学院1年生で上昇し大学院2年生では再び低下している。「都市計画」を希望する学生は大学院に進む比率が高いものの、大学院2年生になって希望を変える学生が多いと考えられる。



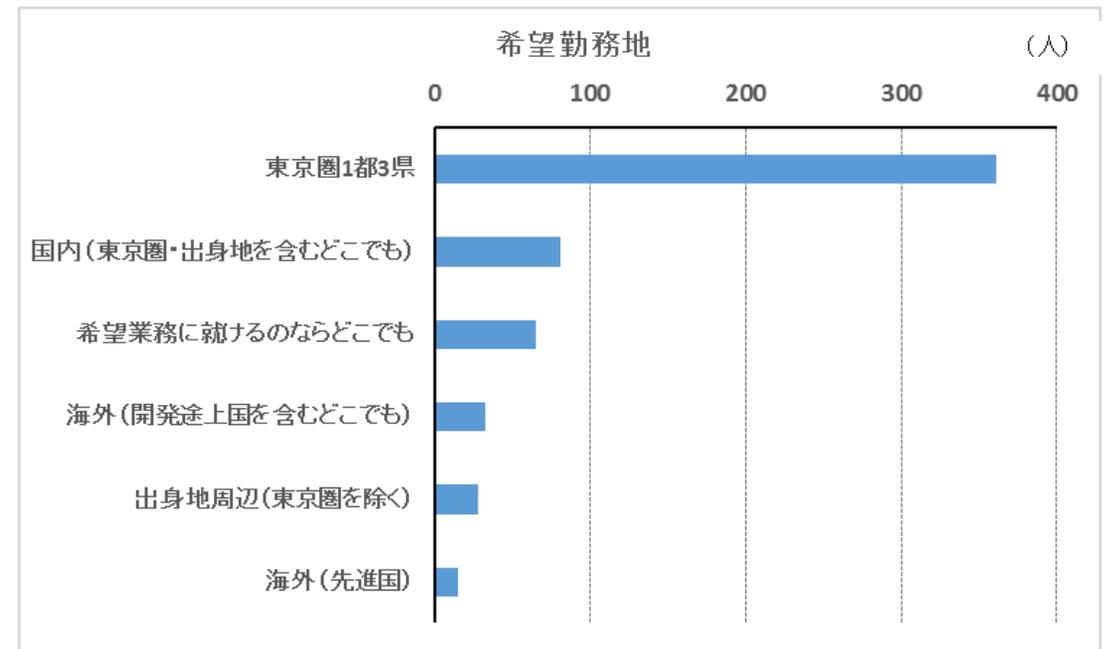
## 7. 希望(予定)している業務(性別)

- 女子学生と男子学生の希望業務比率を比較すると、「設計(意匠・構造・設備)」業務に大きな差異はみられない。
- 「施工監理」業務の比率は、男子学生の8.5%に対し女子学生は4.6%と4%ポイント程度下回っている。「施工監理」には現場監督の采配によって職人を働かせる業務を含んでおり、女性の進出は難しい分野であると推測される。
- 現役学生の希望業種をみる限り、「リケジョ」が「施工監理」業務へ本格的に進出するには、更なる「リケジョ」の増加に要する時間と社会全般の意識改革が必要と考えられる。
- 一方、「研究」業務では男子学生の11.9%に対し女子学生は13.8%、「都市計画」業務では男子学生の13.2%に対し女子学生は17.1%と、いずれも女子学生の希望比率の方が高い状況にある。
- ただし、本問では、設問者による提示業務が少なかったことと回答者の建築業務に関する知識不足から、望んだ回答は得られなかった。



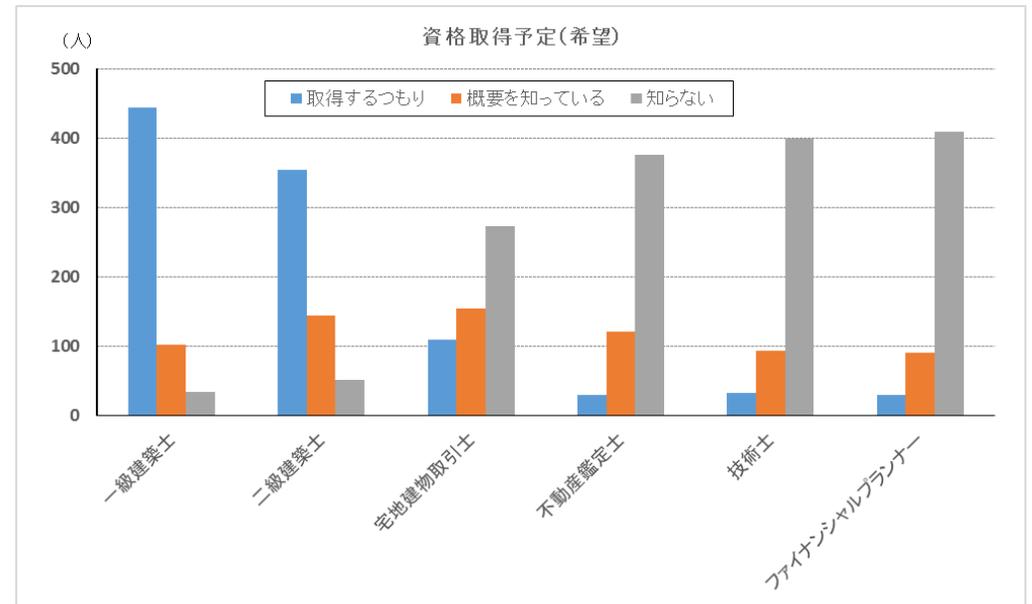
## 8. 希望勤務地

- 希望勤務地は「東京圏1都3県」が361人(61.9%)で最多。この背景としては、元々、東京圏出身の学生が多い、大学時代を過ごして知人・友人も多い、多数の企業の本社が所在する日本の中心である、新たな建築が日々誕生し大規模な都市計画が実施されているエリアである、2020年にオリンピックがある、等が挙げられる。
- 「東京圏1都3県」に「国内(東京圏・出身地を含むどこでも)」81人(13.9%)と「出身地周辺(東京圏を除く)」28人(4.8%)を合わせた国内志向組は8割超を占める。建設事業者による海外進出が活発化している昨今であるが、海外情勢の緊迫化といった背景もあり海外希望者は必ずしも多くないようである。
- 「希望業務に就けるのならどこでも」は65人(11.1%)。希望業務ができるのであれば場所にはこだわらないといった回答はもっと多いと期待していたが、近年はどこで仕事するかが就職先を決める重要な要素になっているようである。
- 「海外(開発途上国を含むどこでも)」33人(5.7%)に対し、「海外(先進国)」は15人(2.6%)。海外勤務を希望するといっても必ずしも大都会でのデスクワークを希望しているのではなく、開発途上国等における社会貢献等を希望している在校生が多いといった頼もしい状況がうかがえる。



## 9. 資格取得意向・認知状況

- 対象とした6つの資格の中では、一級建築士が443人(76.6%)で取得意向が最も高い。建築を志す学生皆がめざす資格であり、本学学生も高い取得意欲を有している。ただし、「知らない」が34人(5.9%)存在するのは問題である。
- 次いで取得意向が高いのが二級建築士の354人(64.5%)。卒業後すぐに受験できるが、実際は受験しない卒業生が多数存在する。ただし、住宅メーカー等に入社した場合は受験は会社命令であり、取得はある意味必須とされる。
- 次いで、宅地建物取引士(旧宅地建物取引主任者)109人(20.3%)の取得意向が高い。高卒が受験資格であることから在学中でも受験できるが、在学中に取得した話はほとんど聞かない。不動産で食っていく場合は必須・最強の資格であるが、273人(50.9%)が知らないといった状況にある。
- 不動産鑑定士は不動産関連の資格では最難関。不動産鑑定業務ができる唯一の国家資格であり、ステータスは高い。375人(71.6%)が知らないとの回答。
- 技術士は国土交通省等が発注する大半の大規模開発に関するコンサルティング業務の資格要件となる。不動産開発を業としていく上では必要な資格であるが、2次の記述式試験が超難関。398人(76.1%)が知らないとの回答。
- ファイナンシャルプランナーは建築・不動産とは直接関係ないが、専門家として事業を評価・助言する立場になった場合はファイナンスの知識は必須となる。409人(77.5%)が知らないとの回答。



## 10. 卒業までにやっておきたいこと(1)

- 以下の7つのキーワードごとに学年別に整理、分析した。
- 「建築・不動産等資格・技能取得」に関しては、低学年ではたくさんの建築に触れて知識を向上させようとする意識が高い一方、二級建築士や宅地建物取引士等の資格取得をめざした動きがみられる。高学年では資格取得の動きに加え、CADやプログラミング技能の習得、国家公務員第1種の取得等が挙げられている。就職が現実味を帯びてくるにしたがって、資格・技能の取得をめざす学生が増加する傾向がみられる。
- 「TOEIC、TOEFL等、英語力向上」に関しては、低学年からTOEICのスコア向上や英会話・コミュニケーション能力の向上をめざすとともに、海外短期留学や語学留学の動きもみられる。高学年でも基本的には変わらないものの、英語での研究を志向する動きが新たにみられる一方、語学留学を志向する動きは減少している。
- 「海外経験・旅行・留学」では、低学年から主に建築探訪を目的とした海外旅行や海外留学、海外インターンの希望が多くみられ、学年が上がるにつれ長期滞在の傾向が高まっている。しかしながら、学年が上がっても大きな変化はみられないことから、本校学生にはこれ以上の新たな動きは期待できないと考えられる。
- 「インターン・職業訓練」に関しては、低学年では社会勉強としてのアルバイトやインターンへの参加が主流であったものの、高学年ではより専門性の高い分野でのインターンや研修への参加といった動きがみられる。ある程度進むべき道を見定めた結果であろう。
- 「コンペ、イベント参加」に関しては、低学年ではコンペに参加し入賞やグランプリを獲得するといった頼もしい回答が多数みられたが、高学年になると当初の勢いは弱まっている。現実をみたらからか、自らの実力を見限ったからかは定かではないが、大学高学年ではまだまだ決定すべき段階ではないと考える。
- 「交友・交流」に関しては、低学年ではサークル活動や他大学の学生や建築系社会人との集団行動を通じた人脈づくりを希望する学生が多い。一方、高学年では1人旅やヒッチハイクといった個人行動を志向する傾向が強い。人脈形成は学生時代は集団行動が、社会人では個人行動が主流となることから望ましい動きと考えられる。
- 「自己啓発」に関しては、低学年では多くの知識を獲得し自らの能力の幅を広げて、自分のやりたいことを発見するといった回答が多かったが、高学年では論理的思考を身につけたり仕事に活かせる技術や知識を取得したりと、就職を見据えた動きが主流となっている。

# 10. 卒業までにやっておきたいこと(2)

卒業までにやっておきたいこと(学年別)

学年	建築・不動産等資格・技能取得	TOEIC、TOEFL等、英語力向上	海外経験・旅行・留学	インターン・職業訓練	コンペ、イベント参加	交友・交流	自己啓発
学部1年生	建築を好きになる	TOEIC770点以上	海外旅行	生産的コミュニティの形成	コンペ参加	サークル活動	ボランティアに参加
	建築について学ぶ	TOEIC800点以上	海外渡航	社会勉強としてのアルバイト	設計コンペに参加	課外活動	心理学について学びたい
	さまざまな建築物の観察	TOEIC850以上	海外の建築をみる	アルバイト	建築コンペに参加	ダンス	多くの知識を獲得
	展示会に参加	TOEICがんばる	海外の有名建築物を探访	土木系のアルバイト	様々なコンペを経験	他大学の学生との交流	自活能力向上
	建築についての知識を豊富に	英検1級取得	世界ひとり旅	設計事務所での手伝い	コンペで入賞	建築系社会人との交流	何かを考えて達成
	建築のスキル向上	英会話向上	海外・国内どちらか一人旅	設計図面の作成	コンペでグランプリ	人脈づくり	自分の能力の幅を広げる
	建築関係の資格を取る	英語のコミュニケーションの習熟	ヨーロッパ一周	設計できるようになる	学外のイベントに参加	人脈を広げる	創造の柔軟性を取得
	二級建築士取得	英語のスキルを上げる	ロンドンの建築を見る	ひとつの作品を仕上	コンクールで入賞	人間関係の構築	自分のやりたいことを発見
	一級建築士の資格取得	英語能力向上	海外で勉強	インターンシップ	-	他人との生活能力向上	将来の職種検討
	宅地建物取引士取得	語学留学	海外留学	-	-	生涯の友達を作る	進路を決める
公務員資格を取る	-	留学	-	-	-	社会に出て行ける力をつける	
運転免許取得	-	世界に適用する力を習得	-	-	-	夢を具体的にしていく	
学部2年生	建築にたくさん触れる	TOEFL高得点	海外旅行(建築物見て回る)	字をきれいにする	設計課題優勝	オセロ大会で強者と対戦	100冊の本を読む
	建築雑誌を多く読む	TOEIC700点以上獲得	海外の建築・都市を見に行く	模型に没頭	コンペ参加	サークル活動	自分の部屋の本棚を埋める
	日本国内の建築を幅広く探索	TOEIC750点	海外を回り見識を広げる	自分が納得できるような設計	大学外設計コンペに参加	サークルを作る	インテリアの勉強
	建築学の基礎をつける	TOEIC800点	一人で海外に行く	外部に手伝いに行く	設計コンペに参加	サークル活動に積極参加	新しい趣味を見つける
	建築の知識を身につける	TOEIC900点	海外3か国以上行きたい	深く広くバイトをする	設計で評価される	部活でレギュラーになる	絵を上手くかけるようにする
	興味ある分野の専門知識を習得	英語を学ぶ	10カ国旅行	設計事務所の手伝い	設計で受賞	旅行にたくさん行く	興味のある分野を決める
	二級建築士を取得	英検を取得する	ヨーロッパへ行く	インターン等の課外活動に参加	コンペ優勝	外人と付き合う	本当にやりたいことを発見
	一級建築士の知識を身につける	英語を話せるようになる	海外で建築の勉強をしたい	オープンデスク参加	-	日本のすべての県を訪れる	一人で生活できるようにになりたい
	宅地建物取引士の資格取得	英語学習・試験	海外で勉強する	建築を通して自分の考えを伝える	-	日本各地旅行に行きたい	アイデア豊富になりたい
	カラーコーディネーター資格取得	短期留学	海外留学	-	-	友達を作る	自分を律することのできる人間になる
インテリア系の資格を取得	-	言語習得	-	-	彼女つくる	-	
自動車免許取得	-	-	-	-	-	-	
学部3年生	建築知識の確認	TOEFL	海外の有名建築を見学する	構造の勉強	インスタレーションの作成	学生生活楽しむ	読書
	設計製図での向上	TOEICの勉強	海外の文化や建築を見たい	専門科目の勉強	コンペ参加	部活	ボランティア
	二級建築士の取得	TOEIC頑張る	ヨーロッパに行く	第3言語の習得	たくさんのコンペ参加	遊ぶ	自立
	デジタルツールの習得	TOEIC受験	アメリカ横断	建築音響学について理解を深める	-	ライブイベントをバンドで主催	一人暮らし
	PCでの設計	TOEIC600以上取得	バルセロナ、アメリカに旅行	実務向けのトレーニング	-	教授ともっと交流する	家事全般できるようになる
	CADなどのプログラム習得	TOEIC700点	アフリカ・南アメリカ大陸訪問	社会に出たとき役立つスキル	-	大学にずっといたい	教養を付ける
	CADやイラレ系のソフトマスター	TOEIC800点以上	インド観光	多数のアルバイトを実施	-	旅行	見聞を広める
	FP取得	TOEIC860点以上	エジプトに行くこと	建築事務所でバイト	-	一人旅	目標を明確にする
	宅建士の資格取得	短期留学	オランダ観光	建築関連のバイト	-	日本一周	やりたい職業を見つける
	簿記2級の資格取得	語学留学	ボランティアで海外行く	インターンシップ	-	世界一周	深く掘り下げた分野の探求
	公務員試験の勉強	-	海外インターンシップ	アトリエ系事務所でインターン	-	いろいろな大人の話聞く	やりたい分野・内容を明確にする
	自動車運転免許取得	-	海外留学	住宅メーカーのインターンシップ参加	-	外部交流	進路決定
	-	-	海外研修	建築系以外のインターン	-	恋愛	就職先を決める
-	-	留学(スペイン又はフランス)	東京でのワーキングコネクション	-	-	院試の勉強	
-	-	外国語の勉強	実務のプロジェクト	-	-	-	

# 10. 卒業までにやっておきたいこと(3)

卒業までにやっておきたいこと(学年別)

学年	建築・不動産等資格・技能取得	TOEIC、TOEFL等、英語力向上	海外経験・旅行・留学	インターン・職業訓練	コンペ、イベント参加	交友・交流	自己啓発
学部4年生	いろんな建築を見る	TOEICのスコア向上	海外旅行	卒業研究による構造認知度の向上	コンペ参加	学会への参加	近畿圏の断層(野島・生駒)調査など
	建築史について実物から学ぶ	TOEIC700点以上	海外旅行(長期)	構造設計について理解を深める。	コンペに勝つ設計力の取得	留年による1年の有効活用	卒論テーマにしっかり取り組む
	二級建築士の取得	TOFLE	海外の建築を見に行く	環境と意匠を絡めた研究	-	先生・先輩との交流活発化	満足のいく論文を書き上げる
	PCソフト技量の強化	英語の習得	ヨーロッパ一周	ゲストハウスの設計について研修	-	人脈を可能な限り広げる	取りたい授業を悔いなく取る
	PC、模型作りの技術向上	英会話力の上達	海外インターン	就職先に必要な知識の取得	-	旅行	院試の勉強
	パソコン技能の向上	英語力の向上	海外留学	事務所でのアルバイト	-	一人で国内旅行	様々な本を読んで知識を増やす
	宅地建物取引士の取得	英語の勉強(会話、TOEIC)	海外研修	企業のインターン	-	日本一周	自分の納得いく設計をつきつめること
	コンクリート技師合格	海外短期留学	-	インターンシップ(長期)	-	日本全国(全都道府県)制覇	プレゼン力の向上
	国家公務員総合職 最終合格	-	-	アトリエのインターンシップ	-	国内外問わず、様々な場所を訪問	研究テーマの完遂
	運転免許取得	-	-	ワークショップ	-	彼女獲得	研究の仕方を身につける
-	-	-	実務体験	-	-	研究の定量的知見収集	
大学院1年生	建築史と実務的な知識の習得	TOEIC700点以上獲得	海外旅行	構造設計に関する知識の向上	論文を多く出す	彼女をつくる	本を読む
	二級建築士の取得	TOEIC750点以上	海外旅行(ラスベガス、ヨーロッパ)	精密な図面描画の習得	文献を外部に出す	恋人をつくる	論理的思考を養う
	使えるソフトを増やす	TOEIC900点以上	海外インターン	TAと生活の両立	一昨投稿	-	査読付き論文を出したい
	プログラミング言語の修得	TOEIC等、英語スキル獲得	海外留学	設計事務所でのバイト・インターン	国際学会発表	-	社会情勢をこまめに把握する癖
	プログラミング能力の習得	英検準一級取得	半年ほど海外に身を置きたい	アトリエでのインターン	コンペティション	-	仕事に活かせる技術や知識を取得
	インテリアプランナーの取得	不自由ない英会話	-	企業のインターン	大きなコンペで賞をとりたい	-	自分の考えをアウトプットする技量の習得
	宅地建物取引士の取得	英語での研究	-	ワークショップ企画	まちづくり活動	-	読書をして知識をつけたい
	甲種設備と各種取得	英語の習得、英語力向上	-	研究	-	-	-
国家公務員1種取得	語学留学	-	-	-	-	-	
大学院2年生	CAD取得	TOEICの点数向上	海外旅行	建築の知識をつける	コンペ	1人旅	読書
	パソコンソフト	英会話	海外に長期旅行	専門知識を深める	コンペで入賞	ヒッチハイク	美術館に行く
	パソコン能力の向上	英語の勉強	海外建築や町並みを見たい	語学	-	建築旅行	スポーツ
	宅建取得	英語の取得	アメリカ旅行	研究	-	国内旅行	趣味
	運転免許取得	-	スペイン旅行	実施設計	-	全国を旅行	重要な書籍を読むこと
	-	-	地球一周	アルバイト	-	彼女をつくること	通史の理解
	-	-	月を見に宇宙へ	就職先の勉強	-	友達づくり	人生を見定める
	-	-	-	-	-	コネクションの拡大	論文をまとめ、考え方を身につける

- アンケート回答にご協力いただきました理工学部建築学科，理工学研究科建築学専攻の学生の皆さま，およびアンケートを集計し600人分近くの入力を担当していただいた50周年学生委員会の皆様に，御礼申し上げます。